リディア®箱粒剤

■種 類 名：フルピリミン粒剤
■有効成分：フルピリミン---------- 2.0%

■登録番号：第24238号
（三井化学クロップ&ライフソリューション登録）
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2019.06.27
■性　　状：類白色細粒
■有効年限：４年
■包　　装：1kg×12袋

【特長】

- 水稲初期害虫、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウに高い効果を発揮する。
- 稲に育苗箱施用及び側条施用が可能。
- 有効成分フルピリミンは新規作用機作を有しており、既存剤に感受性が低下した害虫種にも有効である。
- ミツバチをはじめとする有用昆虫に影響が少ない。

【適用内容】（2024 年 7 月 24 日現在）

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農薬の総使用回数
稲	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ	1 kg/10a	移植時	1回	側条施用	３回以内 （直播での は種時又は移植時までの処理は１回以内、本田では２回以内）
稲 （箱育苗）	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イナゴ類 イネカラバエ イネヒメハモグリバエ イネツトムシ	育苗箱 （30×60×3cm、使用土壌約５ﾘｯﾄﾙ） １箱当り 50g	移植３日前～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。	３回以内 （移植時までの処理は１回以内、本田では２回以内）
		高密度には種する場合は 1 kg/10a(育苗箱 （30×60×3cm、使用土壌約５ﾘｯﾄﾙ） １箱当り 50～100g）				

【効果・薬害等の注意】

- 移植時に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
  - 専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
  - 移植後は湛水状態（湛水深３～５㎝）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
  - 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけること。
- 育苗箱へ処理する場合は、次の注意事項を守ること。
  - 育苗箱の苗の上から所定薬量を均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落とした後、十分灌水すること。
  - 軟弱徒長苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用すること。
  - 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害が生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意すること。
  - 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態（湛水深３～５㎝）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
  - 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけること。
  - 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
  - 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約５ﾘｯﾄﾙ）１箱当りに乾籾として２００から３００g 程度を高密度には種する場合は、１０a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/１０a までとなるよう、育苗箱１箱当りの薬量を５０から１００g までの範囲で調整すること。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさけること。
- 容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

北興化学工業株式会社

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
  器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。